

市町村名	粟国村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	環境美化促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	経済課	事業実施（予定）年度	平成 2 4 ～ 3 3 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	観光地の景観を維持していくために観光地及び観光地へのアクセス道路などの美化・緑化活動を重点的に実施する。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,952	8,855	9,600		
		(b) 予算現額	3,421	6,965	6,684		
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,531	▲ 1,890	▲ 2,916		
		(d) 前年度繰越額	—	—	—		
		A. 計 (b+d)	3,421	6,965	6,684		
	B. 執行済額		3,376	6,965	6,684		
	うち交付金充当額		2,701	5,572	5,347		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率（％）(B/A)		98.7%	100.0%	100.0%		
予算の状況の説明		観光地、観光アクセス道路20箇所の美化緑化活動に必要な作業員の賃金及び備品購入等を行った。使用料等の不要額、賃金や消耗品費の執行残である。当初計画していた観光地、観光アクセス道路20箇所の清掃美化活動は実施できた。					
活動目標（指標）及び達成状況	H26活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光地及びアクセス道路の美化	目 標	(20カ所)	(20カ所)	(20カ所)	()	
		実 績	20カ所	20カ所	20カ所		
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	本村の観光地・観光アクセス道路20箇所に対して、観光シーズンに合わせ、美化緑化活動を実施した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H26成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	観光地及びアクセス道路の美化 20カ所 植栽により、粟国の玄関口である港や空港等にて彩りのもてなしを行い、景観整備を図る。	目 標	()	(20カ所)	(20カ所)	(20カ所)	()
		実 績		20カ所	20カ所	20カ所	
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	観光地及び観光地へのアクセス道路で広範囲で環境美化活動を実施したことで、観光地としての景観が向上し、観光客を受け入れるための環境が向上した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	栗国村への観光客の誘客の受け入れに向けて、観光地及び観光地周辺道路の景観を向上を図る必要がある。 雨天時が多く、天候等の問題で思うように作業が進まないことがあった。	集客の見込める夏場に美化活動のスタートができなかったため、計画を早めることで、夏場の観光シーズンに合わせ、美化活動を行う。 観光地及び周辺道路の美化、緑化を推進することで、観光客が再び訪れたくなるような景観の整備が図られた。
今後の取り組み方針		
環境客が再び訪れたいくなるような景観を維持するため、観光客の玄関口である、空港や港等に植栽等を行うとともに、観光地やアクセス道路の美化、緑化を推進し、観光振興を図る。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
栗国村 6,684千円 賃金 6, 285千円 作業員 4月～3月 延べ98名 需用費 399千円 (消耗品及び燃料費)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
6,684	6,684	5,347	1,337	0

資金の 使途の 流れ、 検 査 目 ・ 費 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 ○支出先については、賃金職員を村規定に基づき採用している。 ○予算規模についても、村規定に基づき積算し予算計上している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	粟国村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	東ヤマトガー周辺環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-12-ア	
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
						Ⅲ-1-(1)	
事業内容	パワースポット的な観光地の「東ヤマトガー」周辺での東屋、安全防止柵及び駐車場の整備を行う。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度				
	予算の状況	(a) 当初予算額	42,537				
		(b) 予算現額	42,537				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 繰越額					
		A. 計 (b+d)	42,537				
	B. 執行済額		36,142				
	うち交付金充当額		28,913				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		85%				
予算の状況の説明		観光スポットである東ヤマトガー周辺に東屋、安全防止柵設置、駐車場を整備するため、工事費42,537千円を計上していたが、工事費の駐車場の横断防止柵と転落防止柵の延長の減による、6,395千円の不要額である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	東屋、安全防止柵の機能強化、駐車場等工事一式	目 標	()	()	(実施)	()	
		実 績			監理委託業務 本工事		
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	東ヤマトガー周辺施設として、東屋1棟、駐車場(6台)、手摺(L=43.6m)、転落防止柵(L=43.5m)の整備を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	東屋、安全防止柵の機能強化、駐車場等工事の完了 安全柵設置等により、安全面が改善され、観光スポットとしての定着を図る。	目 標	()	()	()	(実施)	()
		実 績				監理委託業務 本工事	
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	平成27年2月末で東屋1棟、駐車場(6台)、手摺(L=43.6m)、転落防止柵(L=43.5m)の整備が完了し、平成27年4月から供用開始されている。岩が分け隔てられた珍しい火山活動を見ることが出来る観光スポットとなっている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	観光スポットである東ヤマトガーの利用者の安全の確保と利便性の向上が必要であることから、安全防止柵、東屋1棟、駐車場(6台)の整備を行った。東屋、駐車場沿いの1部一周線未整備のため、道路が狭く交通面で不便であるため整備面などで課題がある。	東ヤマトガー付近の粟国一周線未整備箇所について、地権者の合意に向け用地交渉を再度実施する。 観光スポットである東ヤマトガー等を含めた観光ガイドメニューの開発や周知広報活動に取り組む必要がある。
今後の取り組み方針		
村や観光協会HPやガイドブックでの東ヤマトガーの情報発信を強化するとともに、平成27年度に一括交付金で実施する観光振興に資する事業を活用し、観光スポットの魅力向上に向けた取組を強化する。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
粟国村 36,142千円 委託費 2,486千円 (株)岩下建技コンサルタント 2,486千円 工事請負費 33,656千円 (株)川平土木 33,656千円 東ヤマトガー周辺環境整備工事監理委託業務 東ヤマトガー周辺環境整備工事				
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額
		36,142	36,142	28,914
				市町村負担金
				7,228
				交付対象外経費
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において確認し適正であった。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○予算規模については、積算基準に基づき積算を行い、適正であった。	

市町村名	栗国村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	あぐにデジタルアーカイブ化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成25～26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	島の豊かな自然や伝統文化等、島にまつわる多種多様な資料をデジタル化し、それらを管理システムに集約・管理し利便性を向上させることで、村民および観光客の郷土学習に付加価値をつけ、栗国観光の質を高める。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	21,000	22,248			
		(b)予算現額	17,850	19,440			
		(c)増減額(b-a)	▲ 3,150	▲ 2,808			
		(d)繰越額	0	0			
		A. 計(b+d)	17,850	19,440			
	B. 執行済額		17,850	19,440			
	うち交付金充当額		14,280	15,552			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100%			
予算の状況の説明		島の歴史資料、有形・無形文化財などを収集し、各種資源をコンテンツ化するための委託料が、19,440千円で、減額は入札残によるものである。当初計画の事業は全て実施したので予算の執行は適正であると考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	島の歴史資料、有形・無形文化財などを収集し、各種資源をコンテンツ化する。	目 標	()	(4件)	(実施)	()	
		実 績		4件	実施		
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	①画像・映像・音声コンテンツ(3,000点目標、5,412点実施)の投入 ②バーチャル古民家(瓦葺)1棟投入 ③電子書籍1冊投入 ④デジタル紙芝居作成 ⑤ふくらしやる栗国今昔展(那覇・栗国)開催						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	島の歴史資料、有形・無形文化財などを収集し、各種資源のデータベースの完成	目 標	()	()	(4件)	(実施)	()
		実 績			4件	実施	
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	平成25年度よりシステム構築しつつ、今昔展開催等を行うことより島民および村出身関係者等へ告知を行った。それにより今年度5,000点以上の個人所有の写真を収集できコンテンツ化・システム投入できた。本村関係者へはこの島への郷土愛を再認識でき、観光客へは本村の歴史的情報も提供できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	薄れゆく伝統文化・歴史をデジタル化し後世へ鮮明に残すことにより、郷土愛を育むとともに観光客へ付加価値情報の提供を目指し事業を始めた。村民および村外の島関係者への周知活動不足による住民への調査活動が思うように進まなかった。	村内各区長および各団体へ協力依頼を強化し、村外に対しては郷友会や村民からの個人紹介などにより多くの関係者から情報収集ができた。
今後の取り組み方針		
多くの方々から貴重な資料をコンテンツ化し、当初目標3,000点を超える合計5,412点をシステム投入できた。しかし、戦後からの資料が主になっているので、戦前以前の資料調査が必要である。今後は、戦前以前の資料調査を行いつつ、多くの方々へ当該事業を告知し、新たなコンテンツをも投入していく。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19,440</td><td>19,440</td><td>15,552</td><td>3,888</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	19,440	19,440	15,552	3,888	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
19,440	19,440	15,552	3,888	0										
栗国村 19,440円 委託料 19,440円 丸正印刷株式会社・株式会社アイ アム共同企業体 19,440円 あぐにデジタルアーカイブ化事業委託業務 (コンテンツ調査・制作・投入)														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により、確認、適正であった。 ○予算規模については、3社見積に基づいて適正に積算を行っている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	栗国村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④ 栗国村「ア」のくにづくり推進事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	経済課	事業実施 (予定)年度	平成 2 6 ~ 2 8 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	観光客の受入体制の整備		
					Ⅲ-1-(1)		
事業内容	島の自然や伝統文化などの地域資源として広めていくため、マスコミやマスメディアを活用し、イベント等への誘客を図り、イベントの開催、観光ツアーを実施する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			26年度	27年度	28年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	15,120				
		(b) 予算現額	15,120				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	0				
		A. 計 (b+d)	15,120				
	B. 執行済額		15,120				
	うち交付金充当額		12,096				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100%				
予算の状況の説明		栗国村観光振興計画に基づき、地域資源の特性を活かしたイベント1回及び体験と地域住民との交流を織り交ぜた交流体験型の観光ツアー1回を開催する計画は、すべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	①イベント開催1回 ②観光ツアー1回	目標	()	()	①イベント開催1回 ②観光ツアー1回	()	
		実績			①栗国島「ア」の国まつりの開催 ②観光ツアーの実施		
達成状況説明	栗国島「ア」の国まつりでは、ステージイベントでは住民の文化芸能活動の発表、ゲストライブ、レイザーショー打ち上げ花火、カラオケ大会を行い、ウォークラリーがセットになった村内集落散策観光ツアーを実施した。今年度は天候不良がなく、予定通り開催することができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	①イベント来場者数:300人 ②観光ツアー参加者:10人 ③観光ツアー参加者満足度調査:満足と答えた人70%	目標	()	()	①1回 ②1回	①300人 ②10人 ③70%	()
		実績				①680人 ②31人 ③90%	
	進捗状況説明	栗国島「ア」の国まつりの開催1回、観光ツアー(1回)を実施することにより、栗国村への観光客の誘客及び観光地としての定着が図れつつあり、観光入域客数も少しずつ増加している。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	本村の認知度が低いことから、観光客の伸びに悩んでいたため、観光客の誘客に向け、本村の認知度を高めるため、イベントや観光ツアーを開催し、マスコミやマスメディアを活用し情報発信を行った。しかし、まだ本村の魅力を十分に発信しているとは言えず情報が不足していることが課題として挙げられる 島の自然や伝統文化などの地域資源を活用した体験交流型観光メニューの開発や、島内外での周知広報活動に取組を強化する必要がある。	イベント開催時期について十分検討し、観光客が本村へ訪れるきっかけ作りや満足度を高めるメニューづくりを行い、事業が計画どおり執行できるよう努める。 多様な観光メニュー開発に取り組むとともに開発した観光メニューの活用に向け、村と観光協会が協力し情報発信を強化すると共に、受入窓口となる観光協会の体制を強化するため人材育成の取り組みに力を入れる。
今後の取り組み方針		
栗国村観光振興計画で設定している平成32年度の観光入域客数1万人を目指して、平成27年度は一括交付金を活用して、県内外へ情報発信をし、観光客数の入域数の増への取組のため県外イベントへ参加や、本村のイメージキャラクターアニーちゃんをデザインしたラッピングカーを活用して、イベントへの誘客や観光入域増加に繋げるため取組む。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象 事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15,120</td><td>15,120</td><td>12,096</td><td>3,024</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	15,120	15,120	12,096	3,024	0
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
15,120	15,120	12,096	3,024	0										
栗国村 15,120千円 委託料 15,120千円 株式会社角川アップリンク 15,120千円 栗国村「ア」の国づくり推進事業委託業務														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時において支出等に関する書類により、確認、適正であった。 ○予算規模については、3社見積に基づいて適正に積算を行っている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	粟国村							
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑤	ヤヒジャ海岸周辺環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-12-ア		
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
						Ⅲ-1-(1)		
事業内容	粟国島形成の歳の火山活動の痕跡が残る様々な地質が存在している西ヤマトガー海岸からマハナ崎にかけてのヤヒジャ海岸周辺を散策できるよう周辺環境整備工事(階段、駐車場)を行う。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	134,268					
		(b) 予算現額	134,268					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 繰越額	0					
		A. 計 (b+d)	134,268					
	B. 執行済額		133,918					
	うち交付金充当額		107,135					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		99.7%					
予算の状況の説明		観光スポットであるヤヒジャ海岸を散策できるよう階段の設置と駐車場の工事を行った。監理委託料及び工事費の入札による予算現額の減である。当初計画の事業は全て実施したので予算の執行は適正であると考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	階段、駐車場、トイレ工事の実施	目 標	()	()	(実施)	()		
		実 績			一部実施			
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
	達成状況説明	ヤヒジャ海岸へ降りる為の階段デッキ(L=105.9m)及び駐車場(7台)の整備を行った。平成25年度の設計段階で、トイレを設置するか検討した結果、水道や電気の関係で設置が困難であることから取りやめた。活動目標に記載していたものを変更していなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	階段、駐車場、トイレ工事の完了 階段設置により安全に海岸散策を行うことができ、観光スポットとしての定着を図る。	目 標	()	()	()	(実施)	()	
		実 績				一部実施		
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	平成27年3月末で駐車場(7台)及びヤヒジャ海岸へ降りる階段デッキ(L=105.9m)の整備が完了し、平成27年4月から供用開始されている。潮の満ち引きに関係なく、ヤヒジャ海岸の散策ができるようになり、救急の搬送についてもスムーズな対処が可能となり、利用者の安全の確保と利便性の向上を図ることができた。平成25年度の設計段階で、トイレの設置について検討した結果、水道や電気に係る工事等の関係で設置が困難であることから取りやめた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	村指定の景勝地であるヤヒジャ海岸と村道との高低差約40mに階段デッキを設け、海岸へのアクセス改善を図ることができた。しかし、村内に観光施設のマップや現在地を示す掲示板等が少ないため、観光客に施設位置が分かりづらい状態である。	関係部所との連携を図り、観光サインの検討を行い、適正に誘導できるよう案内板等の設置を行う。
今後の取り組み方針		
観光入域客数の半数が当該施設を利用することを目標に、平成27年度は、ホームページや観光案内パンフレットにおいて当該施設に係る情報を発信する。		

資金の流れ						
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
		133,918	133,918	107,135	26,783	0

粟国村
133,919千円

委託費
4,320千円

(有)大信土木設計
4,320千円

ヤヒジャ海岸周辺環境整備工事監理委託業務

工事請負費
129,599千円

(有)丸内重機
129,599千円

ヤヒジャ海岸周辺環境整備工事

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において確認し適正であった。 ○予算規模については積算基準に基づき積算を行い適正であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	栗国村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4	和牛改良支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章－3－(3)－イ	
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成25～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	圏域の特色を生かした産業の振興 Ⅲ－1－(6)	
事業内容	本村の畜産業の支援のため、付加価値の高い仔牛が生産できるよう県内外から優良仔牛(母牛になる素牛)の導入を支援し、仔牛の付加価値を高めていくことで畜産業の振興を図る。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	6,000	3,000			
		(b)予算現額	6,000	3,000			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額					
		A. 計(b+d)	6,000	3,000			
	B. 執行済額		6,000	3,000			
	うち交付金充当額		4,800	2,400			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100%			
予算の状況の説明		今年度は、優良仔牛(母牛になる素牛)10頭を計画どおり導入した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	和牛購入助成金頭数 10頭	目 標	(20頭)	(10頭)	()	()	
		実 績	20頭	10頭			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	優良仔牛(母牛になる素牛)10頭を県内外から導入した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(28年度)
	優良仔牛(母牛になる素牛)導入率60%(H25～H26累計)	目 標	()	()	(60%)	()	(100%)
		実 績			60%		
	【参考】 (H25年度成果目標) 和牛購入助成頭数	目 標	()	20頭	()	()	()
		実 績		20頭			
	進捗状況説明	平成25年度に20頭、平成26年度に10頭を導入し、平成28年度までの導入目標50頭のうち、60%の導入を達成した。 また、平成25年導入牛については、20頭を導入し18頭が分娩済みで2頭が妊娠確定済みであり、平成26年度導入牛の10頭については、9頭が種付け済みである。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	畜産農家が小規模経営で、母牛の高齢化が進んでいることから、付加価値の高い仔牛の生産が難しいことから、優良仔牛導入を支援することにより、仔牛の生産向上及び母牛更新により長期的な経営の安定化を図る。導入牛から生まれた雌牛については、1頭を自家保留することを条件に進めており、適切な指導を行う必要がある。	導入牛から生まれてきた優良雌牛は、村内で保留することにより母牛の更新を行い、優良仔牛の生産を図ることができた。
今後の取り組み方針		
優良仔牛(母牛になる素牛)50頭(H25～28累計)を計画的に導入し、本村畜産業の長期的な経営の安定化を図る。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,000</td><td>3,000</td><td>2,400</td><td>600</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 栗国村 3,000千円 委託料 3,000千円 沖縄県農業協同組合 栗国支店 3,000千円 生産農家 和牛改良支援事業委託業務 優良仔牛(母牛になる素牛)の取引 一頭につき上限30万円助成					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,000	3,000	2,400	600	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,000	3,000	2,400	600	0										
資金の 使途の 流れ・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先は、地方自治法施行令第167条の2第1項第○号に基づき、農家の実情を把握し、適切な指導ができるJAと随意契約している。 ○予算規模については、導入牛のセリ市場価格を参考に積算しており、適正であったと考えている。 ○受益者負担は、導入牛に係る経費のうち最低3割以上を負担するように設定しており妥当であると考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												